

堀口組コンソーシアム 公開中間報告会

PRISM (Public/Private R&D Investment Strategic Expansion PrograM) 官民研究開発投資拡大プログラム
国土交通省「建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト」

【開催日時】：2022年12月9日(金) 10:00～15:30 (開場 9:30～)

【会場】：オンライン (Zoom ウェビナー 500名) + 堀口組本社 (留萌市開催)

【対象】：一般向け(土木学会 CPD プログラム)、自治体等

※CPD付与：セミナー視聴、アンケート回答(100文字以上の所見)をされた方に CPD 認定証を送付いたします。

土木学会以外での申請につきましては、各団体の基準をご確認ください。

土木学会で証明する単位が、各団体のルールにより認められない場合があります。

【プログラム】：(敬称略) 司会進行 一般社団法人北海道産学官研究フォーラム 副理事長 藤原達也



10:00-10:05 開会の挨拶

株式会社堀口組 代表取締役社長 堀口哲志



10:05-12:00 現場見学会 (オンラインあり)

コーディネータ 株式会社堀口組 漆館直



①簡易レーザーセンサーによる路面測定

②車載型カメラなどによる3次元再構築

③生体センサと連携させた建災防方式新ヒヤリハット報告の活用

12:00-13:00 休憩・昼食



13:00-13:30 基調講演『建設におけるデジタルツイン戦略』

立命館大学 教授 建山和由

13:30-14:00 特別講演『デジタルツインによる道路管理』

北海道大学 教授 萩原亨



14:00-14:45 試行検証報告

建設IoT研究所 技師長 柳瀬ひろし

①写真計測による点群作成とデジタルツインの展開

株式会社環境風土テクノ 取締役 須田清隆

②映像とテレメータ情報を活用した降雪予想

北海道大学 情報科学研究院 准教授 山下倫央

③生体センサと建災防方式新ヒヤリハット報告を活用したレジリエンス能力の向上について

さらしな人事労務オフィス 代表 田村和佳子

④写真計測やSLAM計測を活用した積雪量測定の試行について

北海道大学大学院 情報科学研究院 教授 金井理

14:45-15:30 総括討論 座長 立命館大学 教授 建山和由

テーマ1：AI/IoTの活用で除雪作業の効率化は図れるか



テーマ2：除雪作業における安全性は高まるか

パネリスト：

国土交通省 北海道開発局 建設部 道路維持課 道路防災対策官 高山博幸

北海道大学大学院 情報科学研究院 教授 金井理

株式会社堀口組 常務取締役 湯浅勝典

北海道大学大学院 情報科学研究院 准教授 山下倫央

一般社団法人仮設工業会 技術審議役 本山謙治 (建設業労働災害防止協会 前技術管理部長)

株式会社環境風土テクノ 取締役 須田清隆

-15:30 閉会

【参加費】：無料 (事前申込必要)

【申込・詳細】：下記アドレスに掲載の Web フォームよりお申し込み下さい

<https://h-sangakukan.jp/events/3827>



Web フォームが利用できない環境の場合は必要事項 (所属、氏名、メールアドレス、オンライン参加希望について) を記入の上で <info@h-sangakukan.jp>までご連絡下さい。

【主催】：堀口組コンソーシアム

コンソーシアム代表者：株式会社堀口組

コンソーシアム構成員：北海道大学大学院情報科学研究院情報理工学部門、株式会社環境風土テクノ、

株式会社建設IoT研究所、一般社団法人北海道産学官研究フォーラム、北海道大学大学院情報科学研究院システム情報科学部門

【連絡先】：一般社団法人北海道産学官研究フォーラム TEL 011-374-6836 E-mail:info@h-sangakukan.jp